

金沢大会など万全期す

一般社団法人県相撲連盟の公認審判員研修会は3日、金沢市の県立武道館で七尾市出身、日本相撲連盟常務理事の舛田守拓大監督を講師に迎えて開かれた。

県相撲連盟審判研修 舛田拓大監督講師に

県内各地から参加した約70人の審判員は5月22日の第106回高校相撲金沢大会(北國新聞社主催)など全国大会や県内大会の公正な審判、円滑な競技進行へ注意点を確認した。

研修会は勝負判定などさまざまな場面を想定した一問一答方式で進められ、審判員たちは審判規程の重要性を再認識した。

大相撲の元関脇舛田山(本名舛田茂)の弟である舛田氏は乱れがちな立ち合いについて、「土俵に上がる前から選手の手呼吸を合わせるように努めることが大事だ」と強調した。

審判の注意点を説明する舛田氏(右)
—県立武道館

